

ボーイスカウト都道府県連盟
理事長 各位
県連盟コミッショナー 各位
事務局長 各位

財団法人 ボーイスカウト日本連盟
教育本部コミッショナー 井上 保
(公印省略)

新型インフルエンザ(H1N1型)とスカウト活動について(第3報)

夏季県大会等の新型インフルエンザ(H1N1型)への対応について(平成21年7月23日付文書・全県連宛 H21-43号(総))にてお願いいたしましたところ、今夏の県連盟事業の通報につきましては21県連盟からご回答をいただきました。

報告いただきました事業の参加者集計は1万4千名強となり、新型インフルエンザへの対応につきましては各県連盟概ね適切な準備をされておりました。

このうち、8月に2県連盟の県大会において新型インフルエンザが発生し、両県連盟ともに事前に定めた対応・対策案に沿った適切な対応により、感染の拡大を最小限に食い止め、重症化することがありませんでした。

新型インフルエンザの国内感染については、8月末日までの1週間に報告された集団感染が、前週と比べ1.5倍に増え8月下旬から学校を再開した地域などで発生が目立っています。

流行期からピーク期への期間は概ね6週間から8週間といわれており、9月後半から10月に行なう活動は、感染のリスクが高くなると思われます。

新聞報道などによりますと、新型インフルエンザワクチンの接種対象者の優先順は診療に当たる医療従事者を最優先とし、小中高校生と高齢者は国産が足りないため輸入ワクチンを用いるとしていて、接種開始時期は遅れることも予想されています。

当連盟からの新型インフルエンザへの対応等につきましては、既にお知らせしましたとおりですが、特に「隊集会等を行う際には、当日を含めた数日間に発熱を有する隊員および指導者、保護者の参加を禁止」また、「新型インフルエンザによる休校の児童、生徒は、学校より指示された自宅待機を守り、隊集会等に出席しない」などご指導ください。

貴連盟内におかれましても、感染拡大防止を念頭に、事業及び活動を展開いただきたいと存じますが、今後の感染予防及び感染時の対応につきまして、下記のとおりご対応いただきますようお願いいたします。

記

1. 予防策の徹底

9月以降はインフルエンザの流行期にあたりますので、平素より基本的な予防策(手洗いやうがいなど)を励行していただくとともに、感染後に重篤となる可能性を持つ基礎疾患のあるスカウトや指導者(成人)の方に対しては、自身の健康チェックを十分に行い、行事への参加をするよう周知徹底をお願いします。

◇予防法

- ①人ごみではマスク着用
- ②頻繁な手洗い 特に食前の手洗い厳守
- ③咳エチケット(至近距離での咳・くしゃみは飛沫感染のリスクが高い)
- ④帰宅時のうがい
- ⑤バランスのとれた栄養、休養と睡眠を充分にとる。(体調の管理)
- ⑥インフルエンザと思われる症状があれば外出しない。(他者への感染を防ぐ)
- ⑦ハイリスク年齢は「24歳以下(全体の60パーセント)と65歳以上の人々」及び慢性

疾患患者。

2. 参加者への対応

参加者へは、事前および当日に自己の健康状態を確認し、発熱や咳などの風邪症状がある場合や、新型インフルエンザと診断された人と数日以内に接触した場合には参加を取りやめるように説明してください。また、活動中の健康状態についても十分に注意するよう周知徹底するようにして下さい。

健康状態の確認チェックはもとより、発熱等のチェックも行なうようにして下さい。

◇感染しないための行動（宿泊型行事の場合を含む）

- ①朝（夕）の健康状態のチェックを行なう。
- ②朝の検温を実施する。
- ③うがい・手洗いを励行する。
- ④マスクの着用を行なう。（電車での移動時など人ごみなどでは必ず着用し、屋内など機密性のある場所での活動はなるべく換気を行い、新鮮な空気を取り入れる）
- ⑤悪天候などの場合は雨具、防寒着の着用を徹底し、冷えなどによる体力の低下を招くようなことが無いよう、十分な配慮を行なう。
- ⑥雨や発汗により着衣が濡れた場合などは、すみやかに着替えを行う。
- ⑦十分な休息、睡眠と食事により、健康維持に努める。
- ⑧衛生管理を厳格に行ない、感染の誘発原因を極力なくす。

3. 活動中に発症した場合

新型インフルエンザは潜伏期間が1～3日と短いため、キャンプなどの期間中に発症したり、キャンプ期間中に感染したりする可能性もあります。また期間が長い場合には感染し発症する場合があります。

発症した場合は早期治療が重要になりますので、迅速な対応をお願いいたします。また二次感染などにも注意が必要です。

◇感染した場合の症状

- ①急な発熱（38～40℃）が特徴
但し、無熱で軽症でも呼吸器への症状がある場合がある。
- ②悪寒・咳・頭痛・咽頭痛・筋肉痛・嘔吐・下痢・関節痛などの症状を伴うことが多い。
- ③重症化した場合は肺炎になりやすい。
- ④症状が出る期間は3～7日程度（この間は他人に感染させるリスクが高い）

※別紙「新型インフルエンザ患者チェックリスト」などのようなリストを作成し、病院へ搬送時に医師に渡す。（早期治療へつながり、医師も対応しやすい）

◇感染者への対応

上記のような感染の疑いがある症状がある場合は、速やかに医療機関を受診させ、帰宅させるよう手配を進めてください。医師など専門家以外の一般人が活動中にインフルエンザだと判断することはできません。また、インフルエンザの簡易判定で陰性だったのに、後日になって陽性に転じることもあります。

- ①手遅れをなくす（早期発見・早期治療）
- ②感染者を隔離する。
- ③すみやかに医師の診断と治療を受けさせる。
- ④感染者の1メートル以内に近づかないようにし、接触する場合はマスク、消毒を怠らないようにする。

4. 事後について

地元自治体、保健所等への届出の必要があれば、すみやかに対応してください。

なお、当連盟への問い合わせ、報告等は必ず県連盟を通じてお願いいたします。

以上

この件に関するお問い合わせ：日本連盟事務局 総務部

TEL 0422-31-5161

FAX 0422-31-5162

新型インフルエンザ患者チェックリスト（例）

名前：

性別：・男子 / ・女子

年齢： 歳

住所：

保険の種類：

下記に症状を記入

・体温（ . °C） 検温時間 時 分現在

・呼吸数（1分間に 回）

・発熱し始めた時間（ 日 時ころから）

・咳が出始めた時間（ 日 時ころから）

・息苦しいか : ・はい / ・いいえ

・食欲はあるか : ・はい / ・いいえ

・元気はあるか : ・はい / ・いいえ

・意識はあるか : ・はい / ・いいえ

・けいれんはあるか : ・はい / ・いいえ

・嘔吐はあるか : ・はい / ・いいえ

・下痢はあるか : ・はい / ・いいえ

メモ

【 参 考 】（県連盟内に注意喚起する場合の文例）

新聞やテレビで報道されている内容に過剰な反応を示す必要はありませんが、このような状況を踏まえボーイスカウト活動を行う際には下記の点に留意してください。

一番大切なことはまず自分がインフルエンザにかからないこと（うつされないこと）、次に他人にうつさないことです。

- ① 隊集会等を行う際には、当日を含めた数日間に発熱を有する隊員および指導者、保護者の参加を禁止させていただきます。
- ② 新型インフルエンザによる休校の児童、生徒は、学校より指示された自宅待機を守り、隊集会等に出席しないようにご指導ください。
- ③ 万が一の場合を考え、隊列を組む場合は前後左右の隊員との距離を十分に開けてください。
- ④ バスや電車などの公共の交通機関を利用するの参加は控え、自家用車で参加するよう勧めてください。
- ⑤ やむを得ず活動にバスや電車などの公共の交通機関を利用する場合はマスクを着用してください。
- ⑥ 特に混雑した電車、バスへの乗車、および混雑した建物内を活動に利用するのは避けてください。
- ⑦ この注意喚起の根拠を以下に詳細に記載します。

《感染の要因は》

インフルエンザに感染する要因は主に以下のようなものです。

- ① 飛沫感染：感染した人の咳、くしゃみ、つばなどとともに出されたウィルスを吸い込むことにより感染することがあります。
- ② 接触感染：感染した人がくしゃみや咳を手で押さえた後や、鼻水を手でぬぐった後にほかのもの（机、ドアノブ、つり革、スイッチなど）に触るとウィルスが付着することがあります。他の人がウィルスの付着したその物体に触れた後に目、鼻、口に再び触れると、粘膜・結膜などを通じて感染することがあります。

《症状は》

突然の高熱、全身のだるさ、咳や鼻水が出る、頭痛、筋肉痛等があります。ただし、健康な人では重篤な状態になることは稀で、かかったからといってパニックにならないようにしてください。

- ① 急な発熱（38～40℃）が特徴。
但し、無熱で軽症でも呼吸器への症状がある場合がある。
- ② 悪寒・咳・頭痛・咽頭痛・筋肉痛・嘔吐・下痢・関節痛などの症状を伴うことが多い。
- ③ 重症化した場合は肺炎になりやすい。
- ④ 症状が出る期間は3～7日程度（この間は他人に感染させるリスクが高い）

《感染者への対応は》

上記のような感染の疑いがある症状がある場合は、速やかに医療機関を受診させ、帰宅させるよう手配を進めてください。

医師など専門家以外の一般人が活動中にインフルエンザだと判断することはできません。また、インフルエンザの簡易判定で陰性だったのに、後日になって陽性に転じることもあります。

《インフルエンザにかからないために》

- ① 必要のない外出は控えてください。（特に人が集まる場所）。
- ② 外出から帰宅したらうがい、手洗いを行って下さい。手洗いは石鹸を使って最低 15 秒以上行い、洗った後は清潔なタオルやペーパータオル等で水を十分に拭き取ります。
- ③ マスクを着用してください。
- ④ 混雑した電車、バス、建物などの人ごみを避けてください。
- ⑤ 咳をしている人には近寄らないようにしましょう。

《咳エチケット》

周囲の人から1～2m以上離れてください。咳やくしゃみのしぶき（飛沫）は約2m飛びますので、以下の点に注意してください。

- ① 咳、くしゃみが出始めたらマスクを着用しましょう。
- ② マスクがない場合はハンカチやタオル、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から1m以上離れ顔をそらせてください。
- ③ 口を覆ったティッシュはゴミ箱へ。
- ④ タオルやハンカチを使わずに咳やくしゃみを手で覆ったら、そのままの手で他の物に触らずに、ただちに手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ⑤ 家庭や職場でマスクをせずに咳をしている人がいたら、マスクの着用をすすめましょう。

《感染を拡大させないために》

- ① 必要のない外出は控えてください（特に人が集まる場所へは行かない）。
- ② 外出したらうがい、手洗いを行って下さい。
- ③ 発症したら、マスクをして感染が広がらないようにしましょう。
- ④ マスクだけでは感染を完全に防ぐことはできないので、お互いに距離をとるなど、他の感染防止の方法も行いましょう。

以上